

# 発信! 高校生記者

えがお えひめEgaoリポート①

昨年の「えひめ国体・えひめ大会」で活躍した高校生記者がパワーアップして再び登場する。参加校は県内33校に拡大し、新たなメンバーが活動を開始した。スポーツ、文化、地域といった幅広いテーマの中から、自校の部活動や特色ある取り組みをピックアップし、等身大の高校生活や学校の今を伝える。

## 伊予農高

### 女子卓球部

## 校外練習で実績重ね

20年前、部員わずか2人でスタートした伊予農業高女子卓球部。2年後、新入生が入部して団体戦に参戦、県総体に駒を進めた。現在部員は15人。今年の全国選抜大会にはシングル

スで田中杏奈主将(17)が、同校として13年ぶり2度目の出場。県総体は団体で昨年3位。今年は初の準優勝と躍進した。四国大会には3年連続出場となり実績を積み。

昨年度、旧体育館が取り壊され、今は主に校外での練習を余儀なくされるが、効率率のよい方法を工夫。通常練習に加え、希望者は平日で3時間、休日4時間の居残り練習もこなす。

「どんな時にも心に笑顔を」が合言葉。顧問の戸田明男教諭(54)のもと、学年を超

えて仲が良い。ユニホームや練習着のTシャツのデザイン、部旗、ハチマキは顧問の手作り。おそろいの服装



「笑顔を忘れず」をモットーに精進する伊予農業高女子卓球部

### 目線 生徒会



同じ高校生が頑張る姿を知ることができた。勝つただけではなく、感謝の気持ちをおぼれたいことは大切だと思った。私も仲間と何かを成し遂げたり、感謝の心を持って生活したい。(A)

で士気を高めている。モットーは「自信・我慢・感謝」。大会で、準備や後片付けを率先して行う。感謝の一例だ。

田中主将は「目標は全国大会。今年あと一歩だったが、団体、個人の全種目で四国大会出場は果たせた。ベスト4に」と張り切る。(谷口愛優、寺下文貴、清水陽介)

〈随時掲載します〉

タイトルカットは松山南高低部分校デザイン科制作。高校生記者の活動は愛顔(えがお)スポーツ応援アプリ(愛媛新聞社ONLINEアプリ)で随時更新。

